

■ 新潟市美術館
コレクション展Ⅲ

光を想う

2017年1月2日(月)～4月2日(日)

午前9時30分～午後6時(観覧券の販売は午後5時30分まで)

休館日:月曜日(ただし、1月2日・9日・30日、3月20日は開館)、1月24日(火)～27日(金)、3月14日(火)～17日(金)、3月21日(火)

観覧料:一般200円(160円)、大学生・高校生150円(110円)、中学生・小学生100円(70円)

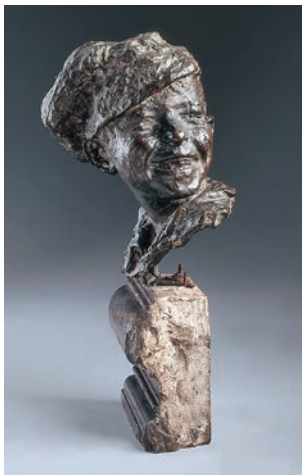
* ()内は団体(20名以上)料金 * 土・日・祝日は中学生・小学生無料

* 当館主催の企画展開催中は、その観覧券でコレクション展もご覧になれます。また、中学生・小学生は企画展と合わせて無料となります。

* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方及び一部介助者は無料(受付で手帳をご提示ください)。

* 団体観覧で解説をご希望の場合は、事前にご連絡ください。

末松正樹《日》1992 油彩 カンバス



[左] メダルド・ロッソ《ガウロッシュ》1882-83頃 ブロンズ
 [中] 荒木経惟《去年の戦後》より 2013 セラチン・シルバープリント
 [右] 岡本唐貴《万代橋（信濃川）》制作年不詳 油彩 カンバス

新潟の冬。曇天の空のもと、だからこそ、〈光〉に想いを馳せる展覧会を開催します。

事物の凹凸や色調を捉えるにも、空間の広がりを感じるにも、私たちの視覚経験に不可欠な〈光〉。美術の分野でも〈光〉をどのように扱うかは常に根源的なテーマです。屋外での写生をもとに、まばゆい陽光風景を描いた矢部友衛や岡本唐貴。太陽と大気が作り出す一瞬の煌めきを抽象表現で捉えた末松正樹。割れたカメラレンズ越しに真夏の東京を切り取った荒木経惟。あるいは、表面に帯びる輝きと陰影によって、生命感を湛えるメダルド・ロッソの彫刻。そして、心の奥底に灯る静かで力強い〈光〉の存在を気づかせてくれる草間彌生の作品。

本展では、所蔵品の中から〈光〉に関わるさまざまな表現を紹介し、「美術館流日向ぼっこ」をお届けします。

関連プログラム

コレクション展ギャラリートーク（当館学芸員による解説）

1月28日（土）、2月26日（日）、3月25日（土）
 各日午後2時から（30分程度）
 ＊直接常設展示室にお越しください。
 ＊当日の観覧券が必要となります。

ふれあい美術館ガイド（美術館協力会ボランティアによるご案内と解説）

1月22日（日）、2月19日（日）、3月19日（日）
 各日午前11時から（30分程度）
 ＊エントランスホールにお越しください。
 ＊当日の観覧券が必要となります。

美術講座「光と闇の美術史」

1月21日（土）午後2時から（90分程度）
 担当学芸員 上池仁子
 会場：当館2階講堂
 ＊申込不要、聴講無料、先着100名

その他の館内プログラム

きままプログラム「07 ハンデポン！」

Lounge Nで、いつでも無料で参加できる気軽な造形プログラム。

実技講座「彫る・摺る・みる 多色刷木版画教室」

浮世絵版画をお手本に3色の摺りに挑戦。木版の魅力を味わう2日間です。

講師：たかだみつみ氏（木版画家）

3月5日（日）、3月19日（日）各日10:00～12:00

会場：当館2階実習室

参加者：定員15名、高校生以上で2日間とも参加できる方。初心者歓迎。

持ち物：参加費 おひとり1,000円、彫刻刀

申込締め切り：2017年1月30日（月）必着

お申し込み方法：

往復はがき、メールのいずれかに、①氏名 ②電話番号 ③住所 ④「木版画講座希望」をご記入の上、下記美術館へ申し込みください。一通につき3名まで記入可。応募多数の場合は抽選。

同時開催の展覧会

アンパンマンとやなせたかし展 : ー1月15日（日）
 木村希八さんの贈り物 : 1月28日（土）ー3月5日（日）
 原安三郎コレクション 広重ビビッド : 3月18日（土）ー

新潟美術館の展覧会 TEL:0250-25-1300

第13回新潟教育アート展 : 1月4日（水）ー1月14日（土）
 新潟の院展作家たち : 2月4日（土）ー3月20日（月・祝）

交通のご案内

▶タクシーで

新潟駅万代口から約10分

▶自動車で

[1] [高速道路] 日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分
 [2] 国道8号線（新潟バイパス）紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

▶バスで

A: [観光循環バス・朱鷺メッセ先回りまたは白山公園先回り] 乗車時間約30分
 →バス停「新潟市美術館入り口」下車→徒歩3分 ※1日14便運行
 B: [C6八千代橋線] 乗車時間約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩5分
 C: [B1万代橋ライン（BRT）など] 乗車約10分→「古町」下車→徒歩12分（約860m）
 ※Cが最も便数が多いです
 ※古町から[B:C6八千代橋線]または[C5西堀通線]入舟営業所行きにも乗り継ぎできます



新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
 TEL.025-223-1622/FAX.025-228-3051
 E-MAIL: museum@city.niigata.lg.jp
 www.ncam.jp

新潟市美術館公式Facebook
 www.facebook.com/ncam.tsunagaru/